

ヤマト、兵庫県でも客貨混載スタート

Edited By LogisticsToday On 2017/06/22



ヤマト運輸は22日、兵庫県豊岡市の江原地区と神鍋高原を結ぶ路線バスで、同県内初の「客貨混載」を開始すると発表した。同日、全但バスの江原営業所で出発式を行った。

全但バスと共同で、過疎化や高齢化が進む中山間地域の「バス路線網の維持」と「物流の効率化」を目的に実施する。2015年6月に岩手県でスタートした同社の客貨混載は、宮崎県（15年10月）、北海道（16年9月）、熊本県（16年10月）に続いて5道県となる。



山林に囲まれる神鍋高原地区は年々人口が減少し、高齢化率は27.8%と県内でも特に過疎化や高齢化の進行が著しい。

そこで、宅急便を輸送できるよう中央部に荷台スペースを確保した路線バスを1台導入し、客貨混載専用のバスと

分かるようにオリジナルデザインをラッピング。ヤマト運輸のセールスドライバーが神鍋高原の顧客に配達する宅急便をJR江原駅で路線バスに積み込み、神鍋高原の東河内バス停留所で担当SDに引き渡す。

地域住民にとってはバス路線網が維持されることで、病院やスーパーといった施設へのアクセスが確保されるほか、ヤマト運輸のセールスドライバーが神鍋高原に滞在できる時間が増えるため、当日発送の集荷締め切り時間が13時から15時まで2時間延長されるなど、従来以上に利便性が向上する。

また、全但バスにとっても路線バスの空きスペースで宅急便を輸送することにより、旅客運賃以外の新たな収入源を確保することとなる。ヤマト運輸は昼の到着荷物を取りにセンターへ戻っていたセールスドライバーの代わりに、全但バスが荷物を運ぶことになるため、移動時間を大幅に削減できるようになる。

今後は全但バスとの連携を強化し、神鍋高原で集荷した荷物を路線バスで輸送することや、他路線への客貨混載の拡大、道の駅を活用した産物支援などを検討する。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/292929>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.